

平成２７年度事業報告

事業概要

食鳥肉に起因する衛生上の危害の発生を防止し、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的として、鳥取県が認可した県内の３食鳥処理場に於いて、鳥取県知事から委任された食鳥検査を実施した。

１．法人の運営

１）会議の開催

（１）理事会

- ① 第６７回理事会 平成２７年５月２１日（木）午前１０時から
 - （ア）平成２６年度事業報告の承認について
 - （イ）平成２６年度収支決算の承認について
 - （ウ）経理規程の一部改正について
- ② 第６８回理事会 平成２７年５月２９日（金）午後１時から
 - ・理事長、常務理事の選任について
- ③ 第６９回理事会 平成２７年１２月１日（火）午前１０：３０から
 - ・平成２７年度収支予算の補正について
- ④ 第７０回理事会 平成２８年３月２２日（火）午前１０：３０から
 - （ア）平成２８年度事業計画の承認について
 - （イ）平成２８年度収支予算の承認について
 - （ウ）食鳥検査業務規程の一部改正について

（２）評議員会

- ① 第１１回評議員会 平成２７年５月２９日（金）午前１０時から
 - （ア）平成２６年度事業報告の承認について
 - （イ）平成２６年度収支決算の承認について
 - （ウ）理事の補充選任について

２）監査の実施

（１）監事による監査

- ① 平成２６年度決算監査 平成２７年５月１２日（火）午前１０時３０分から
- ② 平成２７年中間決算監査（定例監査）平成２７年１０月１５日

３）役員合同研修会

- ・平成２８年３月２２日（火）１２時から「鳥インフルエンザに関する勉強会」
特別講師：大槻理事

２．公益目的事業の実施

１）食鳥検査事業

（１）食鳥検査員の派遣（各食鳥処理場毎に常時２名の食鳥検査員を派遣）

- ① 米久おいしい鶏株式会社鳥取事業所食鳥処理施設（東伯班）

営業日数：267日（平日206日、土曜日45日、日曜日3日、祝祭日13日）

② 名和食鶏有限会社食鳥処理施設（名和班）

営業日数：260日（平日197日、土曜日50日、日曜日2日、祝祭日11日）

③ 株式会社大山どり食鳥処理施設（淀江班）

営業日数：280日（平日225日、土曜日40日、日曜日3日、祝祭日12日）

（2）食鳥検査

食用に供される目的で飼育された鶏を対象として食鳥検査を実施し、人の健康を阻害する恐れのある病気に罹った鶏等の食用に適さないと診断したものについて廃棄処分した。

- ① 食鳥検査羽数は17,439,059羽で、前年度の17,301,269羽（対前年比100.8%）より137,790増え、当初計画羽数17,152,000羽より287,059羽増えた。

（別紙1）

- ② 食鳥検査の手数料収入金額は58,317,160円で、前年度の57,862,188円（対前年比100.8%）より454,972円増え、当初計画金額57,239,650円より1,077,510円（対計画比101.9%）増えた。（別紙1）

- ③ 食鳥検査の結果、「と鳥禁止」、「解体禁止」及び「全部廃棄」処分が妥当であると診断して全てを廃棄した食鳥羽数は175,559羽で、廃棄処分率は1.006%（26年度：166,344羽、0.961%）、内臓等の一部だけを廃棄する「一部廃棄処分」とした食鳥羽数は303,282羽で、廃棄処分率は1.739%（26年度：327,487羽、1.893%）、合計では478,841羽、2.746%（26年度：493,831羽、2.854%）であり、ほぼ横ばいであった。（別紙2）

- ④ 精密検査件数は、134検体の検査を実施した。（別紙3）

2）広報啓発事業

- （1）一般消費者を対象に、食鳥肉の安全性を確保するために実施している食鳥検査の方法及び食鳥肉の処理工程を内容とするDVDを増冊し、関係者等に配布、普及啓発を図った。
- （2）食鳥検査の分析結果を基に専門的検討を加えて各処理場を通じて食鳥生産者に還元し、生産技術の向上と併せて食鳥肉の衛生的生産意識の高揚を図ることに努めた。
- （3）ブロイラーの生産及び処理における衛生状況の向上に資するため、機関紙「食鳥だよりNo. 30」を作製し関係機関等に配布した。また、鳥インフルエンザに係る特集記事を掲載し、同病の正しい認識の啓発に努めた。
- （4）各食鳥処理場において、食鳥衛生管理者（食鳥処理業務従事者を含む）を対象に昼休みや休憩時間にミニ研修会を開催し、食鳥に係る疾病診断技術及び鳥インフルエンザ等の鶏の疾病に関する正しい知識の普及・啓発に努めた。
- （5）より多くの県民に当協会の業務内容や食鳥検査の意義についての理解を深めるために、専門家に依頼してホームページを更新したほか、ポスターの作製や新聞広告等により、検査済み鶏肉の安全性について情報発信した。